

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	鹿児島県指定 第4670105040
法人名	錦江建設株式会社
事業所名	グループホーム ぶどうの木
所在地	鹿児島市中山町5286番地 (電話) 099-821-1011
自己評価作成日	平成26年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年11月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

。入居者の皆さんが季節を感じながら暮らせるよう 季節の野菜やお花を常に植えてお元気な方は一諸に手入れを楽しんでもらっている 又周りが田園風景に囲まれているので散歩で心も体もリフレッシュができる。一人ひとりの楽しみ を聴き取り 時にはドライブでコーヒ楽しんでもらっている。入居者の方が楽しみながら のんびりと過ごせるよう 力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点, 工夫点(評価機関記入)】

○施設は国道から少し入った閑静な住宅街に建てられ、近くには小学校や病院があり、隣接して同系列の有料老人ホームが建っている。木造平屋作りで、玄関前は季節の花々が植えられ、ゆっくりと景観を眺望できるようベンチが設置されている。また、外庭の家庭菜園や中庭の植物で、利用者が日々の生活の中で季節の移り変わりを身近に感じられるよう工夫している。

○共用空間については、トイレや浴室が分かりやすい位置に設置され、回廊により利用者が迷う事がないよう施設設計されている。居室には入り口の各暖簾で判別できるよう工夫されている。カウンター式のキッチンを利用者の状況把握がしやすく、調理をしながらの会話でとてもオープンな雰囲気居心地の良い空間となっている。

○利用者の自己実現、傾聴、受容、家庭的な関係づくり、外部との交流、衣・食・住の充実による心身の維持向上等を含めた事業所理念があり、地域に根ざした取り組みとして自治会への加入や、回覧板の受け渡し、地域行事に参加する等、交流を図り地域社会の一員として貢献できるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員は朝 理念を唱和し実践につなげている 運営推進会議では町内会長さん民生委員の方も一緒に地域の事を話し合っている	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を掲げ、朝礼時の唱和にて意識づけを図っている。また、ミーティング等で繰り返し理解を深めるように話し合い、利用者個々に合ったサービスの実践に生かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しているが高齢になり行事参加はなかなかであるが寄付などをして 役にたててもらっている	自治会に加入しており、回覧板の受け渡しや自治会の総会等に参加するとともに、事業所の行事等の際のボランティアを始めとして実習生も積極的に受け入れるなど、事業所自体が地域社会の一員として日常的に交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会長さんや民生委員の方を通じて 地域の方に発信している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では入居者の状況や活動内容などの報告を行っている出された意見や要望は話し合いを持ちサービスの向上に活かすよう取り組んでいる	会議は民生委員や町内会長、行政、家族代表の参加を得て2ヶ月に1回開催され、外部評価やサービスの現状報告等が行われ、委員からは意見や助言が得られている。会議での検討事項については、ミーティング等で対応を話し合い、必要に応じて業務改善を図る事でサービスの向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者と入居者の状況について情報交換や相談を行いながら連携を図っている市の介護相談員も受入れ入居者のサービスの質の向上に向けた取り組みをしている。</p>	<p>行政の担当者には運営推進会議への参加のほか、介護保険申請や生保利用者の紹介、成年後見人の依頼等で日頃から意見交換や情報の交換を図り、助言や指導を頂くなど相互に協力する体制が築かれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>月に1～2度身体拘束について勉強会を開き話し合いをしている日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援し拘束のないケアを実践している</p>	<p>マニュアルを整備して6ヶ月に1回の身体拘束委員会を実施するとともに、勉強会も毎月1回開催して、身体拘束に対して理解を深め振り返りを行っている。玄関や居室には鍵をかけない自由な暮らしの支援に取り組み、特に言葉による行動制限や気持ちの押さえつけがないように、日々のケアを通じて職員が相互に確認してケアへの反映に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>月に1～2度勉強会を行い虐待防止について学ぶ機会を設けている。管理者や職員は虐待がないか常に注意を払い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会をもうけている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項を見ていただき利用者、ご家族の方に理解、納得していただき契約の際、不安を無くし疑問に答えるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の方が来られた時は近況報告をし又家族からの要望もお聞きしている 運営推進会議などを通して外部者へ表せる機会を設け運営に反映させている	利用者及び家族の思いや意見は運営推進会議での意見交換や、面会や行事の際の会話、また、意見箱等を通じて把握に努めている。日常の申し送りやミーティングで必要な対応について協議し、業務改善やサービスの向上に反映させている。ご家族にもホーム便りの郵送等で適切に報告を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々意見や要望は出され、その都度解決に向けた取り組みを行っている。	職員の意見や提案は、運営推進会議や日々の申し送り、毎月のミーティング等を通じて把握に努め、必要に応じて個別の相談にも対応するなど、話しやすい職場環境づくりを図っている。管理者は職員と協力して常に業務改善に取り組み、利用者へのサービスの質向上に努力を重ねている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は職員個々の全ての状況を把握し 研修や 資格取得などの時間を積極的にとり向上心を持って働けるよう努めている又残業等させない努力もしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は交代で参加し職員一人ひとりの質の向上に努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームやその他のホームの方達ともよく交流しお互い相談しながらサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居する前にアセスメントや情報提供書をよく読み 本人の不安な事 要望などを把握し 本人に寄り添うケアに努め信頼関係づくりに努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用を開始する前にご家族の話しをよく聞き 話し合いをし信頼関係づくりに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居する前に管理者 ケアマネ担当者が話し合い他のサービスの必要性なども考える</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の出来る事出来ない事又、好きな事、したい事、をよく聞いたり観察したりして、共に支え合う関係を作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	敬老会へのご招待 季節の変わりの衣替え 家族との外出のお勧め【お墓参りなど】病院同行など家族の関係を大事にしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場は家族へもお願いし関係維持の支援に努めている	利用者のご家族や知人・友人等の来所時には、ゆったりと過ごせるように支援することを始め、必要に応じてご家族の協力も仰ぎながら墓参りや行きつけの商店での買い物等に可能な限り同行に努め、これまでの馴染みの人や場所との関係継続に配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションなどを通うしお互いが関わるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されても ご家族の不安や相談にのり 他の施設の紹介などもしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は入居者、一人一人の担当を決め特にその方の思いや希望を聞き本人本位に検討している	日常の会話や利用者の表情・しぐさ・所作から思いや希望を把握するように努めている。また、意思疎通が困難な場合には、ご家族とも協力しながら利用者本位の支援となるように、職員間で話し合いを繰り返しながら取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントや情報提供により生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境を知り把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察のなかで 心身の状態 有する力等を把握し ケアプランにいかしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、医療機関 職員等で、サービス担当者会議を開催し自立支援と尊厳に向けどのような支援が必要かそれぞれの立場で意見を出し合い介護計画をたてている	本人及びご家族の意向・希望を踏まえて、定期的なモニタリングとサービス担当者会議、ミーティングを繰り返し行っている。かかりつけ医をはじめとする関係者がチームとなり情報の共有を図り、現状に即した介護計画を作成するとともに、定期的及び状況の変化に応じて適切に見直し修正も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤、夜勤それぞれの記録をつけ、日々申し送りをし、利用者の方々の変化を話し合い利用者様一人ひとりに応じたケアができるように取り組んでいる		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービス以外の マッサージ や訪問美容 などその方に必要な支援に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源として必要に応じて民生委員 町内会長さん 又 散髪屋さん、消防の方との交流を深めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々のかかりつけ医を尊重し家族の納得のもとで 訪問診療も受けられるよう支援している	利用前の受診状況の十分な把握に基づき、本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を適切に支援している。ホームは利用者個々のかかりつけ医との情報交換もきちんと行い、ご家族とも適切に情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>健康状態を把握し、異常に気付いた時はかかりつけ医療機関に相談し医師より助言、指導を受けられるよう連携を図っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の方が入院された時時々お見舞いに行き病院関係者との情報交換や 本人の相談にも努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合でもホームで出来る限りケアをしていくが十分なケアが提供できなくなった場合はご家族の方に十分理解していただけるように説明を行っている。</p>	<p>利用の契約時に重度化や終末期の対応について、利用者・家族からの意向も確認して事業所の方針を説明し同意を得てサービスを提供している。かかりつけ医の往診や病院受診等を含めて、地域の関係者がチーム一体となり、可能な限りの支援・対応ができる体制を築いている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時に備え月一度のミーティングで勉強している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に災害時の訓練を行っている。避難方法も全職員が理解している。</p>	<p>年に2回、夜間想定を含めた火災に対する避難訓練を実施している。全職員が避難・誘導・消火・連絡に至る方法を身につけ、地域住民の協力体制も築かれている。災害用の食料や飲料水・備品も準備され、スプリンクラーや自動通報装置も設置されている。また、AEDの講習も訓練時実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を否定しないような言葉や対応について定期的に勉強している 職員一人ひとりが言葉使いに気をつけている	利用者の人格・基本的人権を尊重し、自尊心や誇り、プライド、プライバシーに配慮した声かけの工夫と日常のケアに努めている。また、勉強会や研修等で知識を深め、サービスの質の向上への反映に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様一人ひとりの意志を尊重するため聴き取りから本人の希望を見出すように努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしお風呂の時間 散歩の時間など希望にそって 支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪のカットは定期的きてもらい 洋服の選びも本人に聞きながら支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みをお聞きしリクエストに応じている 又お元気な方は片づけなどを手伝ってもらっている	日頃の暮らしの中で把握できた利用者の希望に沿った食事メニューを工夫し、季節の野菜を使った料理や昔ながらの食事を提供するよう努めている。また、時には外食することなど、食事を楽しむ事が出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、食事量、水分量をチェックし、記録に残すようにしている何か変化があればただちに対応できるように気をつけている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、誘導、見守りにて口腔ケアを行っている 週一度ポリドント消毒をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	すぐにリハビリパンツにするのではなく 排泄のパターンを知り 声かけ 誘導をする 夜だけのポータブルトイレにしたり自立に向けた支援を行っている	生活リズムや排泄パターンに合わせた支援で、オムツ使用の軽減も含めた排泄の自立に向けた取り組みを行っている。失禁した場合は声かけや対応に特に配慮している。また、排泄チェック表は目につかない場所に保管され、排便・排尿コントロールが必要な場合は、かかりつけ医と連携して適切な支援を提供できるように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排泄チェックでその方の状態をしり 水分、食事、運動に気をつけ支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めているが 拒否があった時は時間や順番を変えたり次の日にしたり 個々に応じた入浴を支援している	週3回の個浴が基本であり、体調不良時には清拭や足浴に変更し、皮膚トラブルについては軟膏塗布をしながら、身体状況に応じた支援に努めている。入浴拒否の利用者には、声かけのタイミングを工夫して、ゆったりと楽しんで頂けるように対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して気持ちよく寝れるよう話を傾聴したり 一緒にお茶を飲んだり安心して気持ちよく眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服用状態を常に把握し、用法や用量を間違えないように毎日、日付の確認や本人の確認をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の生活歴や趣味を考慮し庭木の剪定、梅干し作り、キンカン漬、歌、踊り、散歩、新聞、テレビ、等、日々の生活を楽しめるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的にはホーム周辺の散歩に出かけたり、カフェへお茶に行ったり、お花見、ソーメン流し、外食を楽しむなど戸外に出かけられるよう支援している	天候や利用者の健康状態に応じて、時にはご家族の協力も仰ぎながら、利用者個々の希望に沿って散歩や買い物、墓参りや外食、喫茶店でのコーヒー飲み、また、花見や読書のための外出など、日常的に外出が楽しみになるように多くの工夫・支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとり必要なものがあれば希望を聞きその都度職員が買物に行っている又外出の時など財布を持たし一緒に買物をしたりする</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様の希望があれば本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるよう職員が支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間にはテーブルやソファが置かれ思い思いの場所で過ごせるように工夫している。玄関横にはぶどうの木や季節の花を植え、そばにベンチを設置し居心地よく過ごせる工夫をしている</p>	<p>玄関前は花々が植えられ、外庭には家庭菜園もあり、四季を感じさせ野菜の収穫の楽しみもある。トイレや浴室は分かりやすい位置にあり、居室入り口には各々暖簾で区別できるように工夫され、回廊により利用者が迷う事がないように設計されている。カウンター式のキッチン、利用者の状況把握が可能であり、リビングには2つのソファがありくつろぎの場となっている。また、写真や飾りつけでは季節感や生活感につなげる工夫もなされ、空気清浄機の活用等利用者が居心地よく過ごせる環境づくりに努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間のなかで、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせる場所がある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、写真、やお花、絵、ソファなどが置かれ本人が居心地よく過ごせる工夫をしている</p>	<p>居室は洗面台、ベット、タンス、エアコンを備え付けてある。利用者の馴染みのある品々を持ち込んでいただき、家族と協力しながらレイアウトする事で、利用者が日常生活を快適で居心地よく過ごせるよう居室作りを支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部は安全に過ごせるよう手摺を設置しバリアフリーの作りになっている又自立した生活が送れるよう部屋に洗面台も設置している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない